

横浜市立美しが丘西学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
豊かな『感性』と確かな『学び』	○自分らしさを表現する力 ○他者のよさに気づく力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>じぶんだいすき、ともだちだいすき、ふるさとだいすき、びにし9(ピニシナイン)!</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「子どもが主体的に学ぶ」授業への取り組みをさらに進める【知】 ○子ども一人ひとりの感じ方を大切に、自分らしさを表現するとともに、他者を認め合うようにする【徳】 ○食や運動の大切さを知り、健康的な生活を送ろうとする意識を育てる【体】 ○保護者や地域、外部団体を積極的に受け入れ、人や地域とのつながりの中で学ぶ機会を増やす【公】 ○自己肯定感をもち、他者を受け入れられるようにする【開】

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

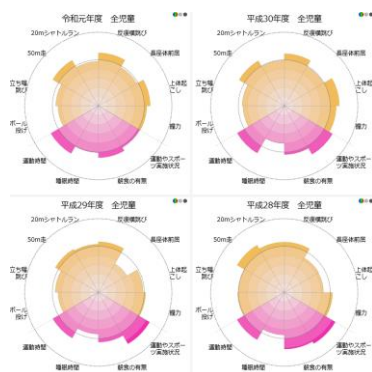
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	① バランスイーナワークを通して、家庭との連携を密にとり、学校、家庭の両面から食育を推進する。
担当 体育部	② B縄タイムを通じて、めあてをたて、振り返る活動を重ね、学級内で互いに認め合う雰囲気醸成する。

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・生活の様子を見ると、ほとんどの児童が朝食を摂っている。朝からの一日の生活リズムができていることがみられる。睡眠時間に関しては、一部改善したものの、高学年は依然市の平均を下回っている。
- ・多くの子どもたちがスポーツクラブなどに所属して、運動に親しんでいる。一方、運動に関心のない子どもは、体育の学習しか体を動かす機会がない。体力的にも運動能力的にも二極化しているが、学校での様々な取り組みの成果もあり、少しずつではあるが体力がついてきていると感じられる。
- ・保健室の利用状況は、やや増加している。突き指や擦り傷が多い。精神的に不安定な児童への安らぎの場としても開放している。児童支援専任も対応している。Gルームでの対応をスタートした。
- ・1校1実践運動の短縄は、クラスによって取り組み方に差がある。全体で取り組んでいるクラスでは、上手に跳べない友だちを励まし、クラスの結束を高めながら、一方で縄跳びの技能も高めていくという姿が見られている。

(2) 体力の概要と要因の分析 (小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



全体的に全国の平均を下回っている。特に女子の体力低下が顕著であり、休み時間や放課後の運動機会が減少していることが原因と考えられる。ここ4年間のデータを見ると、長座体前屈、立ち幅跳び、ボール投げは横浜市の平均を下回っている。特に、ボール投げは、平成29年度から、3年連続で市の平均を大きく下回っている。課題に合わせた運動機会の確保、「休み時間や体育授業を活用した、年間を通した取り組み」が必要になってくる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

・体育科では、「進んで運動に取り組む子の育成」を目標とし、運動することの楽しさや喜びを友だちとのかかわりの中で実感できるようにする。保健の学習では、規則的な生活をするのが、体調を整え、心身ともに安定した生活につながることを学ぶようにする。

《他教科での取組》

・家庭科では、栄養に関する学習を通して、いろいろな食べ物をバランスよく摂取することの大切さに気付くようにする。

特別活動・総合的な学習の時間

- ・集会では、たて割りグループを活用したゲーム集会を開催し、学級とは異なる集団の中で体を動かすことで、下級生を思いやったり上級生の素晴らしさを感じ取ったりする機会としていく。
- ・運動委員会が「他学年との交流を通してより運動を楽しみましょう」というねらいのもと、長縄運動やボール運動など、本校児童の体力的な課題に合わせた活動を設定し、運動機会を確保していく。

課外活動

月に一回程度「バランスイーナワーク」を行うことで、食に関する知識や関心を高め、食の大切さや健康的な生活を送ろうとする態度を養う。

学校保健委員会で、気軽にできる運動を紹介したり食事と運動との関連を調査したりして、健康に関する話題を取り上げ、健康に対する意識を高める。

令和2年度 美しが丘西学校 体力向上1校1実践運動

《名 称》 B→なわタイム

《ねらい》 継続的に短縄跳びに取り組むことで、体力の向上を図るとともに、友だちと力を合わせる楽しさや喜びを感じられるようにする。

《内 容》 休み時間を活用した外遊びの推進＝短縄跳び

●指 標： ①行事後の振り返り 「事前取組」「満足度」
②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。